

産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年6月14日（火）

開催場所：3・4号委員会室

建設水道部

1. 議案第59号 令和4年度中標津町一般会計補正予算（第2号）について

（1）横断歩道等整備工事について（848万1千円）

【主な質疑】

委員：横断歩道2箇所の整備工事費ですが、道路整備などは多くの要望があるはずで
す。工事の決定理由や優先度などの説明をお願いします。

担当：どちらも公安委員会による横断歩道の設置が許可されたため、歩車道の縁石の
切下げを行う工事です。

西11条通り縁石取替工事は、平成28年度から実施されている中標津町通学
路交通安全プログラムの中で、警察署、学校、教育委員会、管理課が協議し、
警察署の調査結果に基づき公安委員会に要望していたものです。

南2丁目シンボルロード縁石取替工事は、町内会からの要望を町民生活部で
取りまとめ、49箇所について要望書として警察署に提出していた中に含まれて
いた箇所です。昨年、交通事故が発生したために優先されたのではないかと考
えています。

（2）丸山公園電灯設備改修工事について（506万円）

【主な質疑】

委員：公園費で電灯設備改修を行う経費の補正ですが、丸山公園以外の公園のLED
化やしるべつと広場の時計、温度計の故障の対応、立木の伐採などはどのよう
に考えていますか？

担当：丸山公園の水銀灯20基のうち、6基が経年劣化により故障しているため公園
管理上の観点から20基すべてをLEDに交換することとしました。他の公園
も様々な改修が必要となっており、公園施設長寿命化計画のなかで、順次進め
ていますが、電灯より遊具やトイレの改修を優先しているところです。しるべ
つと広場の時計と温度計については、漏電による不具合が原因と判明している
ので、修繕費を精査しているところです。

経 済 部

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

(1) 牛乳・乳製品活用促進事業について (150万円)

【主な質疑】

委員：当初予算で100万円を計上し、さらに上乗せした形ですが、当初予算における2カ月間の事業実施の内容とその成果を説明してほしい。さらに補正予算の150万円の事業と当初予算の事業内容について関連性、必要性を説明ください。

担当：当初予算では、従前から行っているウエルカムミルクキャンペーンと、これまで冬季間行っていた、牛乳消費緊急キャンペーンを夏季間も行うものです。コロナ禍でイベントが少ない中、先般「しるべ」が開催されその中で牛乳消費拡大のPRを行っております。補正予算による事業は、空港との連携による新しい取り組みであり、町民の他、町外からの方々にも牛乳消費拡大のPRを行うことで、新たな販路拡大につなげたいと考えているものです。当初予算及び補正予算のそれぞれの事業を農協や空港などの関係機関と町が連携し、さらなる牛乳消費拡大につなげていきたいと考えています。

(2) アフターコロナに向けた特産品開発等支援事業について (1200万円)

【主な質疑】

委員：町内事業者の特産品などの開発や改良、販路開拓の経費の補助というのは、ふるさと納税返礼品の開発などに特化している事業のような説明となっていますがどうでしょうか？

担当：ふるさと納税の返礼品に関しては、地場産品に限るなどの条件があることから、その条件に該当しない商品開発等にも支援しようというものです。

委員：特産品の開発ということになれば、相当の初期経費が必要で50万円程度であれば計画程度のものとなってしまうのではないですか？

担当：新規事業や業態の変化には相当の金額を要するものもあり、事業の構築には国や北海道の数千万円規模の補助制度があります。今回の予算は、商工会と協議してきたもので、商品開発にあたっての講師の招へいやコンサル会社への調査費、国や北海道の補助金で該当とならない経費や販路拡大の調査などに活用できるものです。また、今回の予算で対応できない件数があった場合などは、改めて検討してまいりたいと考えています。

【その他の意見】

委員：サクラマスの内陸での養殖や冬期間の畑を利用した麦の栽培など、他の自治体では様々な事業に支援を行っています。本町としても新規事業の調査などに対する支援を積極的に行ってほしいと思います。特に地場木材の加工などは1社で新規事業を起こすのは、この先の情勢の見通しが立たないことなど難しいとこ

ろですが、複数社による木材加工施設の設置などができないか調査研究に対する支援と町側から関連事業者への働きかけも含め、積極的な施策の展開をお願いします。